

2024年4月から合理的配慮の提供義務化に合わせ ちゅうぎんグループのユニバーサルCMを制作

報道関係各位

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井2丁目10-12、代表取締役社長 中静敬一郎、以下OHK）は、ちゅうぎんフィナンシャルグループ（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 社長 加藤貞則、以下ちゅうぎんFG）とともに、ちゅうぎんグループのCMに手話・字幕を付与し、誰もが情報を受け取れるユニバーサルCMを制作しました。障がいの有無や年齢などに関わらず情報を取得できるアクセシビリティ向上への取り組みの一環として、2社が協力して行ったものです。

OHKは2022年、スマートフォンでQRコード※を読み取ると、手話・字幕・音声での案内が動画表示されるユニバーサル対応システム「シュワQ」を企画開発し、これまで施設や観光案内、企業やサービスの紹介などの動画を制作し、さまざまな分野で情報保障に貢献しています。また、2023年よりちゅうぎんグループの(株)せとのわと連携協力し、岡山県内の企業や団体へ、シュワQを通じてアクセシビリティの概念を広めようと広く呼びかけています。

今月1日より、障害者差別解消法により事業者による合理的配慮の提供が義務化されることに合わせ、ちゅうぎんFGとOHKは、OHKが持つシュワQのノウハウや制作技術を活用し、中国銀行の既存CM（ちゅうぎんアプリ・15秒）に手話・字幕を付与し、誰もが情報を受け取れるユニバーサルCMとして発展させました。障がいのある方とのコミュニケーションや情報伝達における課題を解決したい考えです。

▶ちゅうぎんアプリ（ユニバーサルCM版）

https://youtu.be/fm_DuseQUfM?si=FJzehzsdm0TSybvz



CM制作にあたって、ちゅうぎんFG、(株)せとのわ、OHK、ろう者で事前に協議を重ね、短い秒数でもろう者に伝わる的確な手話表現を追求しました。制作に携わったろう者は「手話がついたことでCMの内容が分かり、自分もこのアプリを使ってみたいと思った。企業が音声情報だけでなく、率先して手話での情報発信など視覚的なコミュニケーションに取り組んでくれるとうれしい」と今後に期待を寄せました。

本CMは、現在岡山県内44店舗、広島県内5店舗の中国銀行ロビーに設置されている店頭デジタルサイネージで放映されています。



OHKは今後も地域社会における情報弱者の課題に向き合い、当事者とともに取り組みを推進するとともに、「情報から誰一人取り残されない社会」の実現を目指し、さまざまな活動をより一層推進していきます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。